

慢性疼痛診療システムの均てん化と
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 中塚 映政 医療法人青洲会なかつか整形外科リハビリクリニック 院長

研究要旨

慢性疼痛患者に対しては従来の治療法では十分な効果が得られないことが多く、多分野・多職種 of 専門家が治療にあたる集学的治療が注目されている。当クリニックでは、医師・看護師・事務員・理学療法士・リハビリ助手による小規模な集学的アプローチで慢性疼痛患者の治療を行った。医師のみならず理学療法士・看護師・事務員・リハビリ助手など多くのスタッフが傾聴・共感などの慢性疼痛患者に対するコミュニケーション方法を学ことによって、慢性疼痛患者だけでなく他の患者においても治療満足度が非常に高まった。その結果、クリニックの経営・運営に非常に良い影響を及ぼしている。

A. 研究目的

慢性疼痛患者に対しては従来の治療法では十分な効果が得られないことが多く、多分野・多職種の専門家が治療にあたる集学的治療が注目されている。当クリニックでは、医師・看護師・事務員・理学療法士・リハビリ助手による小規模な集学的アプローチで慢性疼痛患者の治療を行い、その効果を検証した。

B. 研究方法

医師は、診断・検査・薬物療法・処置の治療だけでなく、慢性疼痛患者に対しては認知行動療法的アプローチでコミュニケーションを行うとともに痛み専門医として医学的な見地から病状について説明する。看護師・事務員は、病歴聴取やバイタルサインの確認を行い、医師に報告するだけでなく患者に親身になって寄り添う。特に、理学療法士(常勤11名)・リハビリ助手(常勤8名・非常勤16名)の役割は非常に大きく、筋骨格系の評価・筋リコンディショニングに加え、慢性疼痛のアセス

メントとして日常生活支障度、痛みの情動・認知、痛みの部位・程度について各質問表を用いて評価する。認知行動療法を取り入れた運動療法・運動指導のほか、痛み行動日記のチェック・評価を行う。

当クリニックでは慢性疼痛患者に対する小規模な集学的アプローチを実践するために職員教育に力を入れている。医師・理学療法士は痛みに関連する学会と一緒に参加して発表や聴講を行って慢性疼痛治療の知識を共有している。また、厚生労働省の慢性疼痛診療体制構築モデル事業(近畿地区)開催のセミナーに医師・理学療法士だけでなく看護師・事務員など多職種のスタッフが参加して慢性疼痛患者への対応と一緒に学んでいる。さらに、理学療法士が痛み専門医療者になるために山口大学をはじめとする5大学が中心となって構築した「慢性の痛みに対する教育プログラムの構築」が開設する「慢性痛管理学コース(eラーニング)」の入学を全面的に支援している。

C. 研究結果

当クリニックでは医師のみならず理学療法士・看護師・事務員・リハビリ助手など多くのスタッフが傾聴・共感などの慢性疼痛患者に対するコミュニケーション方法を学ぶことによって、慢性疼痛患者だけでなく他の患者においても治療満足度が非常に高まった。その結果、クリニックの経営・運営に非常に良い影響を及ぼしている。

D. 考察

本研究から、従来の治療法では十分な効果が得られない慢性疼痛患者に対して、整形外科クリニックにおいて小規模な集学的診療を行うことによって、慢性疼痛患者のADLならびにQOLを改善することが明らかになった。さらに、慢性疼痛患者に対して小規模な集学的アプローチを実践するために行った職員教育は慢性疼痛以外の患者における治療満足度に対しても良い影響を及ぼした。医療従事者にとって傾聴・共感などの慢性疼痛患者に対するコミュニケーション方法を学ぶことは非常に有効であることが示唆された。

E. 結語

本研究から、従来の治療法では十分な効果が得られない慢性疼痛患者に対して整形外科クリニックにおいて小規模な集学的診療を実践するために行った職員教育は、慢性疼痛患者のみならず慢性疼痛以外の患者における治療満足度に対しても非常に良い影響を及ぼすことが示唆された。

F. 健康危険情報

総括研究報告書にまとめて記載。

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Tamai H, Yamanaka M, Taniguchi W, Nishio N, Fukui D, Nakatsuka T, Yamada H. Transient receptor potential ankyrin 1 in the knee is involved in osteoarthritis pain. Biochem Biophys Rep (in press)

2. 学会発表

- 1) 松山雄樹, 山中学, 西尾尚子, 玉井英伸, 太地良, 三宅稜, 中塚映政, 山田宏. 変形性膝関節症に対する新たな治療の可能性 経動脈的微小血管塞栓術の疼痛抑制効果の検証. 第44回日本疼痛学会 岐阜 (2022.12)
- 2) 松山雄樹, 山中学, 西尾尚子, 玉井英伸, 太地良, 三宅稜, 中塚映政, 山田宏. 変形性膝関節症に対する新たな治療の可能性 経動脈的微小血管塞栓術の鎮痛効果の検証. 第15回日本運動器疼痛学会 栃木 (2022.11)
- 3) 玉井英伸, 山中学, 谷口亘, 西尾尚子, 松山雄樹, 上野健, 三宅稜, 貝持裕太, 中塚映政, 山田宏. 変形性膝関節症の疼痛発生メカニズムに対するTRPA1の関与. 第15回日本運動器疼痛学会 栃木(2022.11)
- 4) 曾根勝真弓, Gu Jianguo G, 西尾尚子, 山中学, 谷口亘, 下江隆司, 神埜聖治, 井上慎吾, 木戸勇介, 松山雄樹, 村田顕優, 筒井俊二, 岩崎博, 中塚映政, 山田宏. 各種触覚機械受容器の電位依存性カリウムチャネル遮断薬に対する感受性の違い. 第33回日本末梢神経学会学術集会 東京 (2022.9)

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし

3. その他
なし